TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association

2015年11月26日
Vol.118
立川国際友好協会
発行責任者　斎藤　實
編集責任者　小林　保

外国人に日本語を教えるボランティア団体

ＴＩＦＡ会則改正と新役員選挙

事務局　柏田泰利

現在、ＴＩＦＡは３つの日本語教室で合計８０名を超えるボランティア会員を有しており、その活動は益々盛んになっています。一方、他の教室の会員とのコミュニケーションの機会が少なく、お互いに面識がない人が多い。そのため従来の会長、副会長の選挙や役員選出方法の改善が必要となり、運営委員会では役員選出のあり方について検討を重ねてきました。

今般、多くの会員に理解して戴けるように各教室で新選出方法（会則改定）の説明会を実施しました。その賛否投票を行った結果、会員総数の６９．５％賛成で可決されました。新選出の概要は、先ず教室毎に記名投票し得票数順に代表者を決めます。代表者数の割り当ては会員数に考慮し木曜教室６名、土曜教室５名、松中教室１名とし、合計１２名の「代表者会議」で会長を選出し、会長の指名で役員を任命します。既に代表者選挙は実施済みですが、代表者（＝来年度から１期２年間の役員）をお引き受け頂けるよう確認中です。尚、どなたが代表者（＝役員）になられても、会員全員が積極的に役員を支援し、ＴＩＦＡのより一層の活性化を図ろうではありませんか。

TIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFA

土曜教室ボランティア研修会

土曜教室　的場正道

１０月１７日（土）、ボランティア講師の相互研鑽とコミュニケーションを目的とした研修会を開催しました。今回は「多文化共生の現状」と「動詞・形容詞の文法」という二つのテーマについて学習しました。内容は以下の通りです。　まず、お招きした和洋女子大学講師の倉八順子講師から、多文化共生に関する全般的なご説明がありました。多言語文化社会・在留資格・立川市の推進活動など多岐にわたる内容についてのお話があり、最新の情報と知識を得る事ができました。

次に、土曜教室研修担当の橋本氏より、動詞と形容詞の活用について講義が行われました。資料に従い、「動詞のグループ分け、て形、形容詞の整理・活用」などにつき勉強しました。

多忙の中、１５名の会員が参加し活発な質疑応答が行われ、今後の教室の実践活動に大いに生かされることと思います。これまで年２回の研修会を実施しておりますが、もう少し研修の機会を増やして欲しいという要望も出され、ボランティア講師の皆様の強い意欲が感じられました。

TIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFA

南砂小学生との交流会

引率ボランティア　杉山章子

１０月２２日、TIFA の受講生９名は南砂小学校で交流会に参加、小学４年生と楽しいひとときを過ごしました。応接室に通されて待機していると、元気な小学生が５つのグループに分かれて登場、それぞれ 1～2 名の受講生を受け入れて行動開始です。まず自己紹介、次に教室で受講生の出身国について質問タイム、校庭で鬼ごっこやかくれんぼ、そして室内でのゲームと 90 分の活動時間を上手に使ったプログラムは生徒たちが話し合いをして組み立てたとのこと、感心しました。

左の女性：リンデス・ マレテ・ ビュランド（ノルウェー）
右の男性：アダム・ボタバ（チェコ）（敬称略）

この交流会は、南砂小学校が「総合的な学習」(3～6 年生)の一環として取り組みを続けているもので「海外の方との交流」をテーマとしているのは４年生。毎回の授業で交流会の内容について準備を重ね、終了後は反省会をして改善につなげているとのこと。生徒たちの心のこもった「おもてなし」に受講生たちは満面の笑みで応え、最後に手作りのプレゼントをもらったときは感極まった様子でした。　参加者にとって多分「一期一会」となるだろう交流会、密度の濃い時間は、異なる文化をもつ人間同士が直接ふれあい、やりとりすることの重要性を教えてくれました。

☆☆異文化体験☆☆

オーストラリアでの体験

木曜教室　山崎耕造

私は 1997 年、ある日本語学校の依頼で小学生に日本語を教えるためオーストラリアに行くことになりました。滞在したビクトリア州は石炭や天然ガスを日本に輸出し、州都メルボルン近郊には日本企業があまた進出して日本との繋がりが強く、学校教育に外国語として日本語を採用している事情があります。赴任先はアラルン小学校。メルボルンから東へ３５０ｋｍ、セール市にあります。人口は１万人、日本人は一人も住んでいませんでした。市の中心から１ｋｍも歩くと茫漠と牧草地が広がる所でした。

初めは現地の日本語教師のアシスタント役でしたが、２ケ月目からは単独での授業を持つことになりました。

オーストラリアは固有の動植物の保護には力を入れていて、それは開発と狩猟で多くの希少動植物を絶滅してしまった苦い経験があるからでした。また、南半球特有の現象を見聞きしたことも良い経験となりました。真夏のクリスマスなのでサンタが海水パンツでサーフボードを持ってプレゼントを渡すために教室に入って来たのには驚きました。夜ともなると南十字星が輝き、マゼラン雲海が漆黒の闇に白い雲のように浮かんでいて、星座に南半球の特有のも北半球天文ファンには垂涎ものだと思います。約１年の滞在でしたが貴重な体験になりました。

（筆者は一番左側）

☆☆受講生の故郷紹介☆☆

今号では**松中教室**の受講生の故郷を紹介します。

（敬称略）

氏名：鈴木清美　　女性　３０歳代

故郷：中国　　大連

行路：成田空港から大連まで飛行機で２時間半。

大連は中国の東北にあります。四季の温度は東京と同じです。夏はそんなに暑くないです。３０度もないくらい。海のそばです。夜になると星海広場から大連の夜景が凄くキレイです。大連市の全部が見られます。近くには夜の市もあります。いっぱい美味しい小吃がならべてあります。

氏名：ソウベ　コリン　　男性 20 歳代

故郷：カナダ　オタワ

行路：成田空港からトロントまでは飛行機で１３時間位。

トロントで乗り換えてオタワまで計１５時間位です。

カナダの紹介したいものは「カナダの日」です。7月１日を「カナダの日」と言います。カナダの日ではすごいお祭りがあります。美味しいビーバーテールという食べ物を食べて、無料コンサートを見て、これはカナダのいい経験です。いつも有名人も参加します。カナダは世界で２番目に大きい国です。いつかカナダに来てください。

氏名：田中清子　女性４０歳代

故郷：中国　　ハルピン

行路：成田空港から飛行機で４時間、

ハルピンから車で４０分　故郷宅

私の故郷は－３５℃から－４０℃くらいまで気温が下がり、雪がたくさん降るところです。食べ物は日本と似ていますがお刺身はありません。白菜のキムチがおいしいです。

氏名：陳百群（ちんばいぐん）　　男性３０歳代

故郷：中国　　内蒙古自治区

行路：成田空港から飛行機で４時間、鉄道で４時間、

バスで３０分～故郷宅

串にささった牛肉と羊肉が美味しいです。

白い透明なお酒が有名で４０度もあります。

でも、私は好きじゃありません。日本のビールが好きです

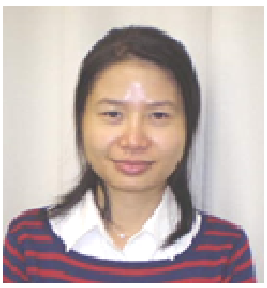
氏名：オミラ（フルネームは大変に長いのです！）
男性　３０歳代
故郷：スリランカ　ケラニア
行路：成田空港からコロンボ空港まで 10 時間、
そこからバスで 40 分。

スリランカは初期仏教国。ケラニアにはその大変神聖なお寺「ケラニア寺院」があり、世界中から多くの参拝客が訪れます。特に１月の大きな祭り「ドゥルス・ペラヘラ」は、電飾で飾った象たちが練り歩き、大変なにぎわいです。教育熱心な国でもあり、子供たちの通う学校は、親もカジュアルな服装では入れないほど格式があるのです

氏名：楊　小瑩　（ようしょうえい）　女性２０歳代
故郷：中国　西安
行路：羽田空港から上海まで３時間、上海空港から
西安空港まで２時間、西安空港からバスで１時間程
かかります
西安は中国十三朝代の首都で、西安を知るには中国五千年

の歴史を見ろという諺もある程に有名な都市です。
町並みは今でもその面影を残し、西安駅前で、まず目に入る、高さ 12m/一周 14km に渡る城壁は実に見事な景観です。古跡も多く、世界遺産として名高い兵馬俑にも 30 分で行けます。美味しい食べ物もいっぱい有りますので、是非訪れてみて下さい。

氏名：チンティ　フェ　女性　２０歳代
故郷：ベトナム、　タイニン
行路：６時間。成田空港～タンサンニャ空港
バスでタイニン



暑くて、静かな田舎。たんぼと畑が多くて果物がおいしい。たとえばマンゴ。　みんなやさしくて親切な人が多い。思い出は川で泳いだこと、稲を家族で植えたこと。帰ったときに食べたいものは「おかゆ」、「カレー」です

“世界ふれあい祭”バザー

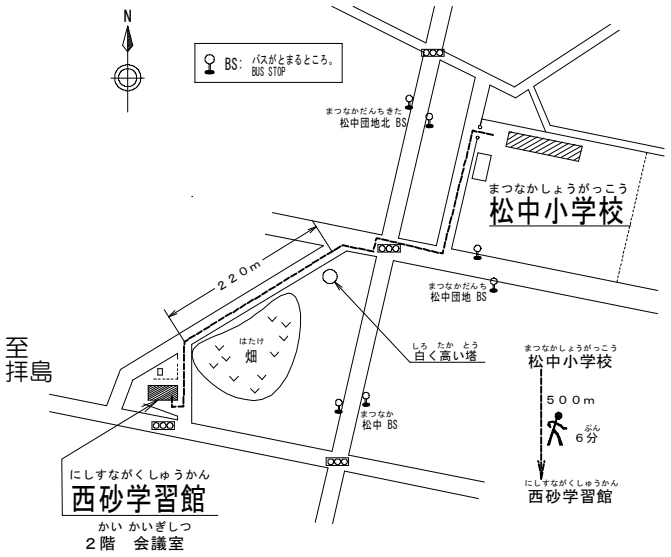
実行委員　長屋多美子

１１月７日、８日に開催された“世界ふれあい祭”は参加国の減少の為か、珍しい食べ物を売るテナントも無くて淋しく、来場者も少なかった様に思います。それでもTIFAは着物体験をTMCと共催にして貰いテントを別にしたので、一等地の二つのテント一杯に提供品を並べる事が出来ました。TIFAで取り揃えた同じジャンパーを着たら連帯感を感じました。お互いに知らない同志のボランティアが声を掛け合い、笑顔を絶やさず接客に当たって下さった事はボランティア交流として大変有意義だったと思います。受講生も同じジャンパー姿で溶け込んでいました。手作りの昼食の差し入れは美味しく、本当に有難かったです。今回は早朝の搬入、雨の中の後片付け、そして二時間だけでもとお願いした新しく入会された方々が協力して下さったことは心強い限りでした。物品の提供、その他色々と協力して下さった全ての方に感謝を申し上げます。また、来年もみんなでバザーを！！　宜しくお願いします。

TIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFA

松中教室移転

松中教室は平成２０１６年１月より、教室の会場を松中小学校から西砂学習館に移転します。
移転に伴い、名称を**西砂教室**とします。



秋のバス旅行

11 月 15 日(日)、年一度のバス旅行も、あいにくの小雨模様の中の出発となりました。

参加者は例年に比べ若干少なく、大人 29 名（内ボランティア５名)、子供（内幼児１名）６名の計 35 名です。松中地区を経由して来たバスは早々と 8:15 にはパレスホテル前に到着し、ほぼ定刻の 8:30 に出発することができました。最初の行き先は千葉市の三陽メディア　フラワーミュージアムで、道路も比較的すいており二時間弱で到着です。フラワーミュージアムは季節ごとにテーマを決め特色溢れる植物の展示を行っているとのことです。バラ、ハボタン、パンジー等を鑑賞しながらゆったりとした時間を過ごすことができました。

昼食はバスで４５分程の幕張アパホテル４７階の中華料理店でのバイキングで、朝からの雨も上がり 47 階の窓から見える東京湾と幕張地区ビル街の景気は素晴らしく、受講生も充分楽しめたと思います。

昼食後、“フーテンの寅さん”で有名な葛飾柴又へ１時間程の移動です。江戸川の土手沿いにある公園で集合写真を撮っていると“寅さん”と同じ衣装を着た男性が近寄ってきましたが、多くの受講生は彼が誰か全く分らなかったようです。柴又帝釈天を参拝し、参道を散策して、柴又駅前に建つ“寅さん”のブロンズ像を見ながらボランティアの説明を聞くうちに、先程の男性が誰か少し理解できたようでした。柴又は古い建物が多く、参道を散策していると昭和初期にタイムスリップしたような感じがしました。

渋滞にも巻き込まれることもなく、予定よりも早く、午後６時前には無事立川に戻ってくることができました。本当にお疲れ様でした。

（寅さん記念館近くの公園にて）

☆☆TIFA 会員動向☆☆

（敬称略）

【入会者】

木曜：なし

土曜：木下 究、倉谷 奈美、蔡 丹華
佐藤 民江、前田 真希

松中：千代 谷典子

【退会者】

木曜、土曜：なし

松中：小谷 貴美恵

【休会者】

木曜、土曜：なし

松中：後藤 直子

土曜教室　入会者　　（左から）

木下 究、倉谷 奈美、蔡 丹華、佐藤 民江、前田 真希

TIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFATIFA

☆☆今後の予定☆☆

イヤーエンド　パーティー

今年もいろんな出し物が期待できそうです。多くのボランティア会員の皆様に協力をお願いすることになりますが、宜しくお願いします。

日時：2015 年 12 日 19（土）

受付開始　17:00
開園　　17:30
終了予定　20:30

会場：柴崎学習館　地下　大ホール

会費：大人（中学生以上）　500 円
子供（小学生）　300 円
幼児　　無料